



梅田舍好文作
一勇齋國芳画

五編下

13
3223
46



与話情浮名書御

五編上

13
3223
45

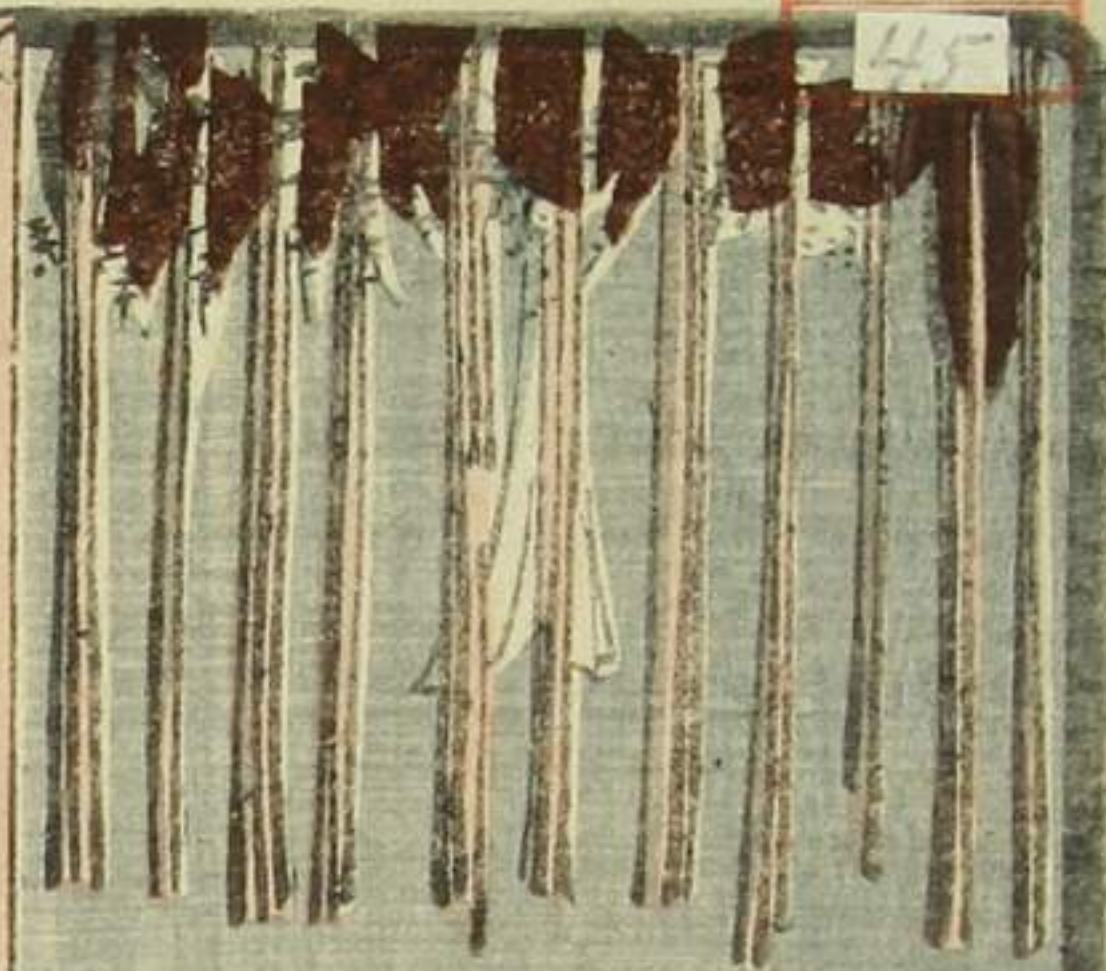




与話情浮名書御

五編上

へ13
3223
45

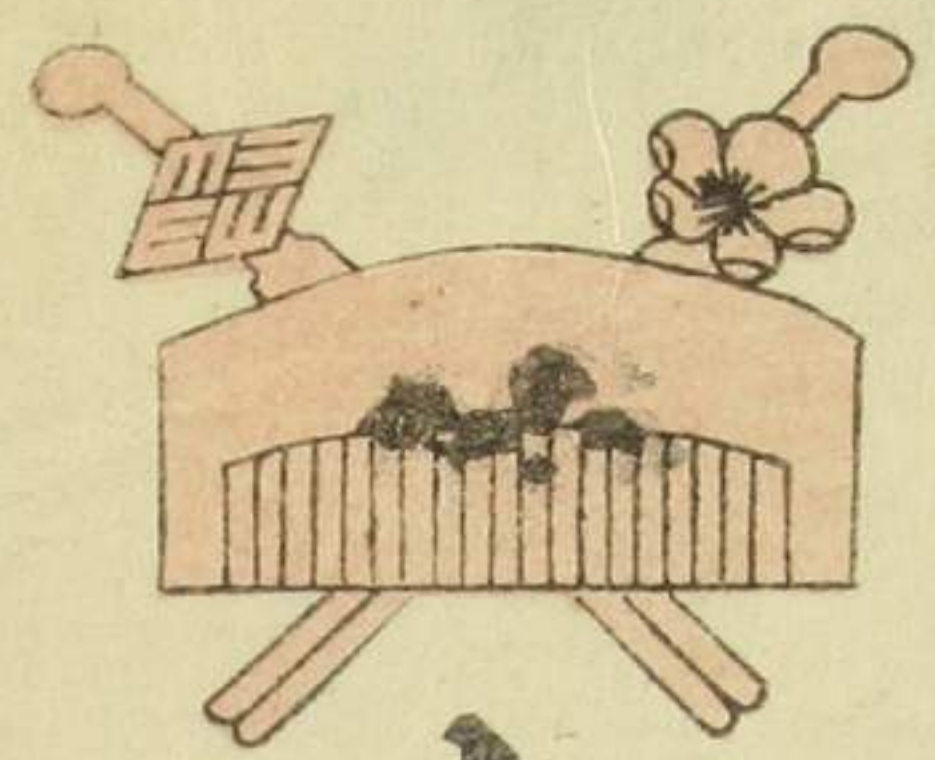


様
の
名

よ
の
あ
さ
く

お
梅
様

く
に
は
し
ま



與話情浮名横櫛

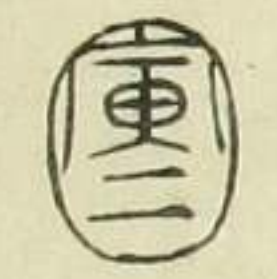
五編上之卷

山本平吉板

夫遠昔釋尊ハ雪山を出て法を説大聖孔子ハ魯國より
これとわつよのまかきん せんざん
 通て五常を諭を神ハもとより此國の三種寶よあぞらそ
きんごう じやうごう
 勸懲の道のち違ちがぬ神壘善惡の鏡の移うつる真心を
かたむね
 濁にごせハ八雲闇雲の若氣の坂の北の里塚色と欲のの徑の迷ひ
あせ
 正直正路をよとそふる。戀の重荷もすまるあぬ浮世の旅
まこと
 ハ道連の友よるこえと話情の多し便らんくもあれと三が
みちづれ
 島の仇夢も離別の蝶番縁も躰もされそ再び結ぶ三度
あだゆめ
 笠草鞋の四乳とく稿成と五編の催促筆の立場もあらふ
かさぞうり
 意馬の短くた端綱のれが無智をうらひあらうを



嘉永八乙卯
青陽日發行



楳田舍好文述





女 風 生 好 女 好 佳 の 好 女 好

伊豆屋
与五郎
同言号
かつら



観音久治

穂積 左近の 妻 關路

王子

同行

陽う花
さうん
り和を
時白
多魚



伊豆屋
下男
忠助

唐
火
の
心
用



向
疵
の
与
三

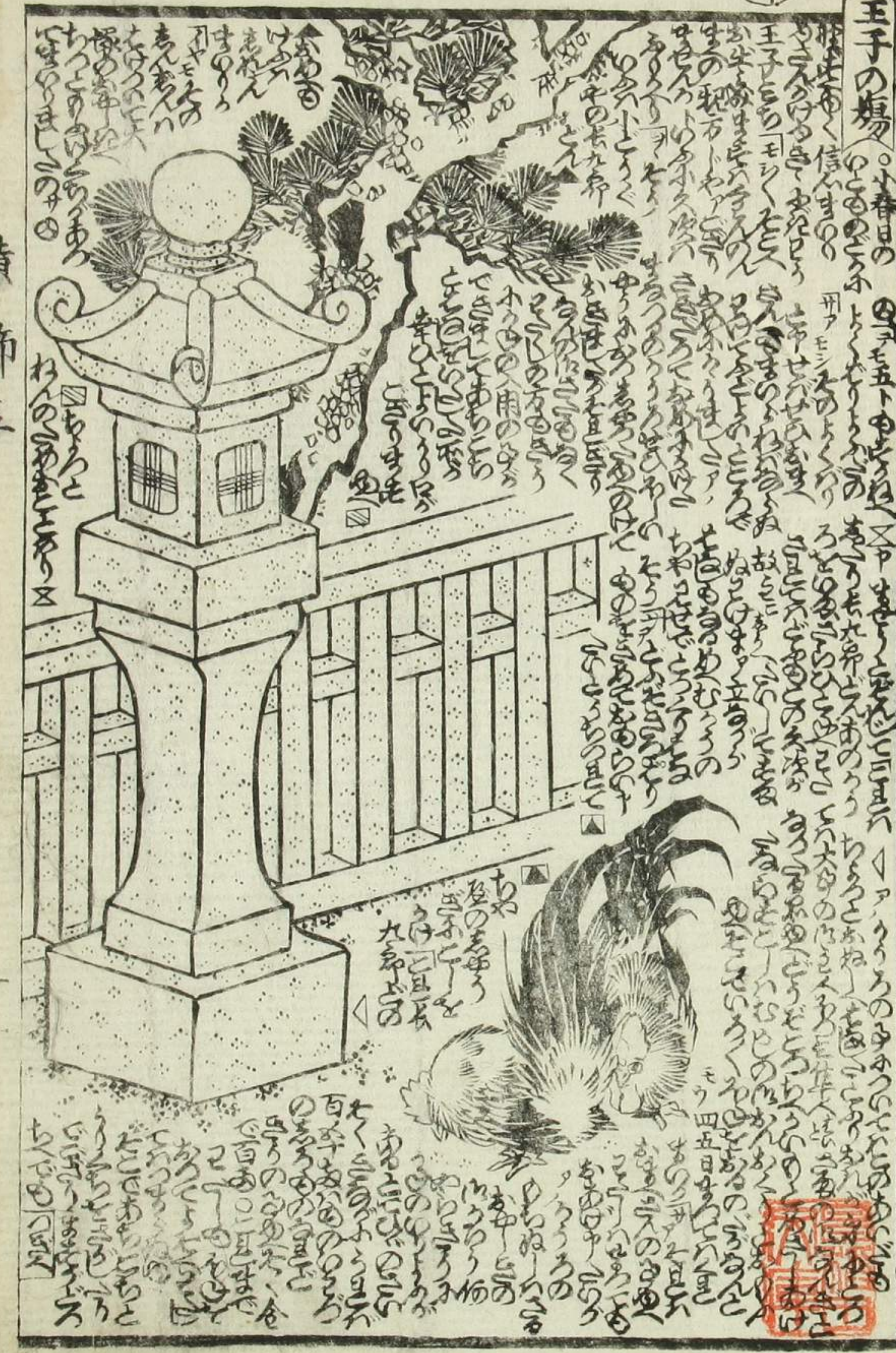




梅田舎好文作
一勇齋國芳画

五編下

13
3223
46



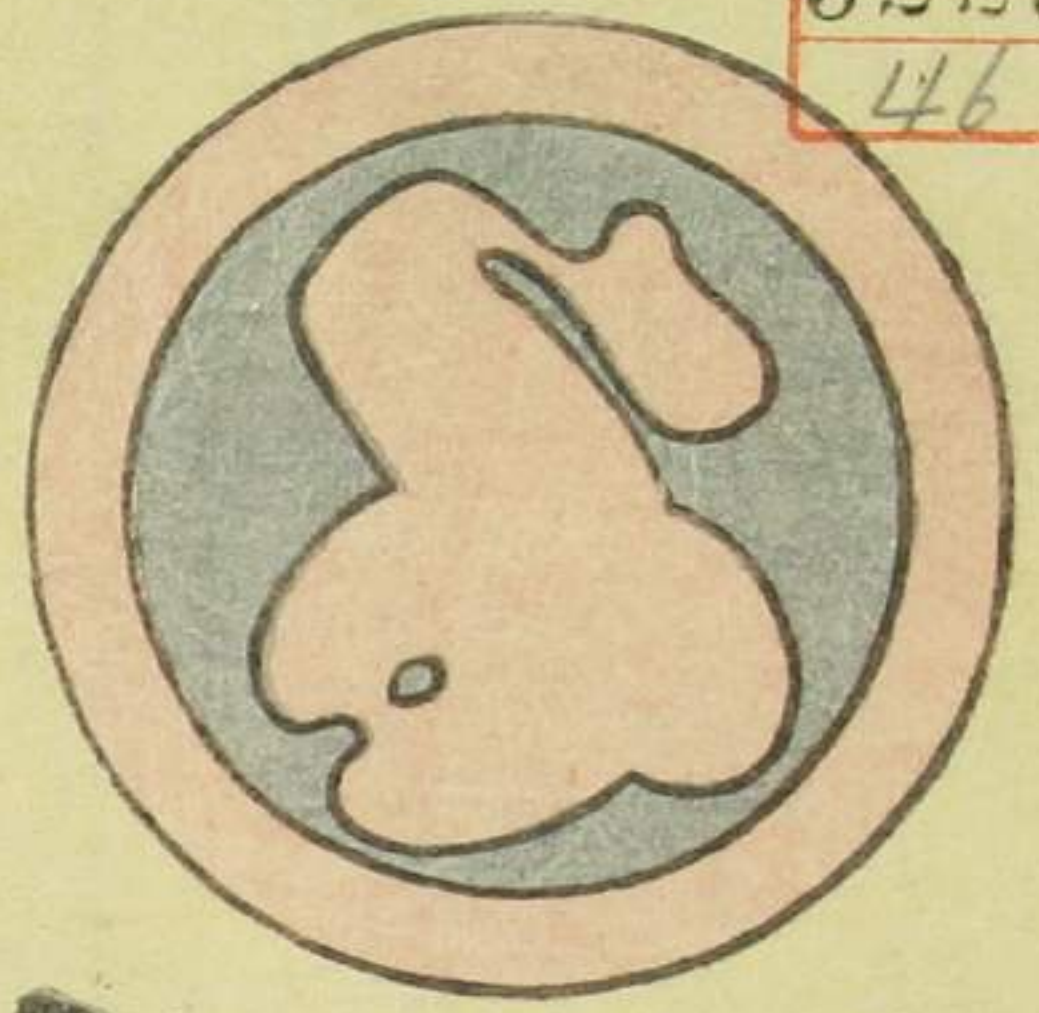
黄
節
二

王子の場

3223
46

好文化

國芳画



五編



おのれ
栄久堂
ありき



此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...

此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...

此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...



此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...

此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...

此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...
 此の茶は...
 佛の茶...



柳 梅 野



此の如きものも
 世に多く見ゆ
 然れども此の如き
 ものは少し
 見ゆ

此の如きものも
 世に多く見ゆ
 然れども此の如き
 ものは少し
 見ゆ



此の如きものも
 世に多く見ゆ
 然れども此の如き
 ものは少し
 見ゆ



此の世の中は
 何事も成さず
 空しく過す
 人の世は
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ



里の場
 世の中
 何事も成さず
 空しく過す
 人の世は
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ



此の世の中は
 何事も成さず
 空しく過す
 人の世は
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ
 夢の如し
 醒めぬ



山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の



山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

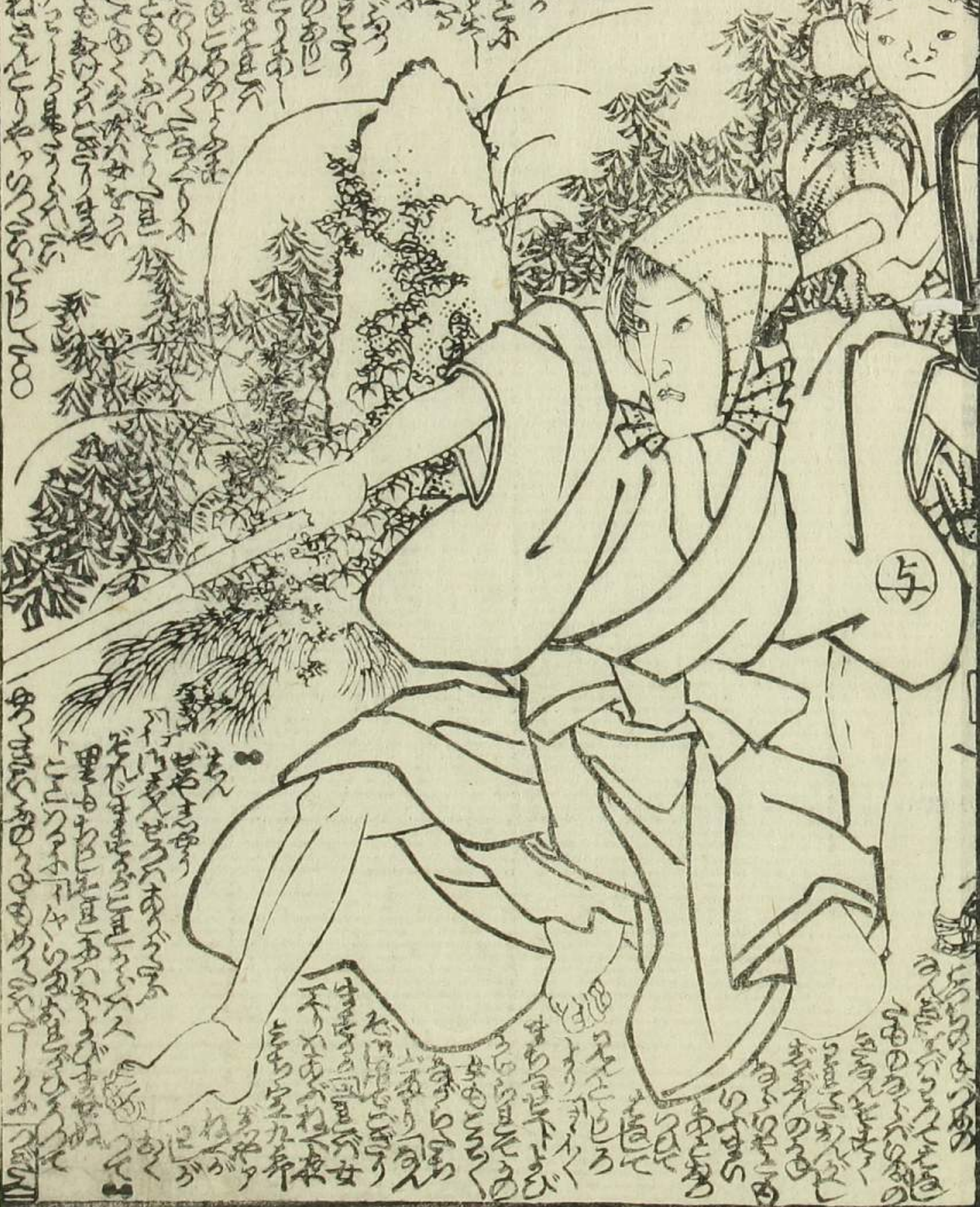
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の
山崎の

山崎の

山崎の

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, located at the top of the left page.

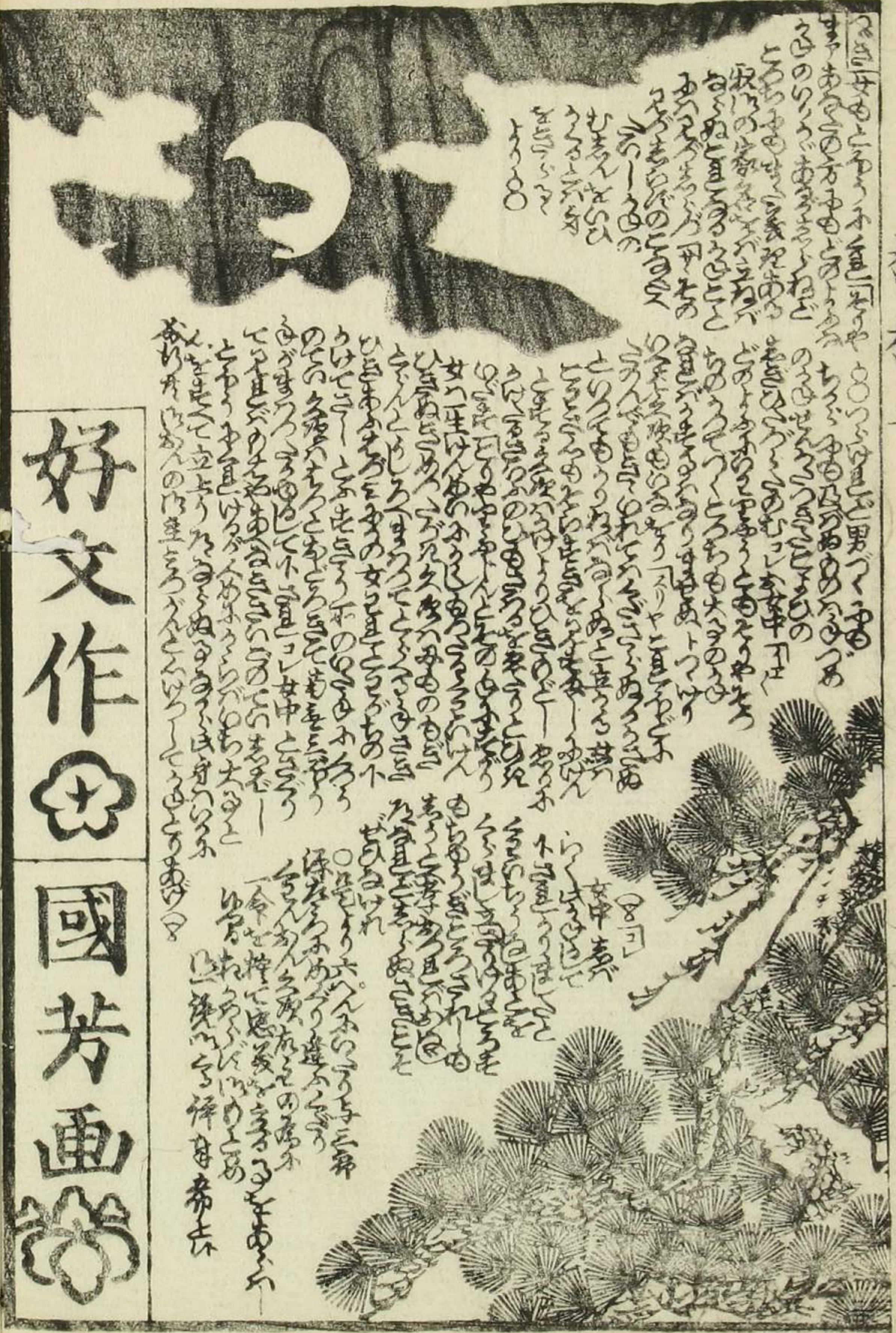


Handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, located at the top of the right page.



Handwritten text at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration.



好文作 國芳画

与話情浮名横櫛

五編 七編 七編

梅田舍 好文作 一勇齋 國芳画

邯鄲諸國物語

笠真仙果作 一壽齋國貞画 二十九編 二十編

堀川唄 真實録

五編 六編 仙果作 國芳画

春の夕し草紙

山東庵京山作 一壽齋國貞画 九編 十編

玉櫛笥竹相根仇討

三冊 仙果作 貞秀画

桃太郎 鬼嶋記 椿説鬼魅談語

初編 為永春水作 五編 雄齋國輝画

地本草紙問屋 榮久堂

江戶芳町 親仁橋角 山本平吉發兌

嘉永八年乙卯春新刊版目録

